

議会質問

梶原ときよし

6月議会

10
四

2022年
6月28日

**市内電車・バス・フェリーの
シルバー・パスを実施して、**

高齢者の移動手段支援を含め、公共交通の利用促進と公共交通政策の充実を官民連携で図るために、シルバー優待バスの実施または、料金割引などの行政支援を行うべきではないか。

梶原議員の質問

昨日、本市内4路線の生活交通バス路線が廃止になつたが、これを認めた本市の地域公共交通会議の議事録を見ても、初めから路線廃止ありきで、確実な見通しがないまま代替交通事業への転換が提案されていた。

都市整備部長の答弁

「高齢者の社会参加を助長し、もつて高齢者の福祉の向上を図る」として、全国の主要都市でシルバーパスや敬老優待事業という名称で指定の交通機関が僅かな負担で自由に乗り降りできる制度を作っている。東京都では何と100万人以上の高齢者が利用し、その満足度は95・8%（2018年調査）に達している。

①市長は交通弱者といわれる高齢者の社会参加を促す政策（シルバーパス等）を行うつ

社会福祉担当部長の答弁
公共交通機関のシルバーパスや料金割引等は、高齢者の社会参加を支援することで、健康づくりや生きがいづくりにもつながると認識していますが、多額の経費を要することから、現時点では実施は困難であると考えています。
また、シルバーパス等が、多面的にどのようないくつかの効果を与えるかは、推計が困難であり、効果をお示しすることは難しいと考えています。

既に全国でシルバーパスの経済効果を含め多面的効果の大きさは実証されており、「多額な経費を要するから困難」としか答えない部の活性化などの視点を入れて示せ。

市長では話になりません。
いいかげん眞面目に市政を行つてもらいたい!!

都市整備部長の答弁

都市整備部長の答弁

ベンチの設置は、バス利用者の利便性の向上につながると考えますが、一方で、適切な維持管理のほか、歩行者や車両の安全性の確保、道路管理者との協議調整、沿線地権者との調整など様々な検討課題があることから、今後、調査



2010年の初当選以来13年目、全定例市議会49議会連続壇を続けています。(連続登壇記録更新中)

本市職員の「身だしなみモデル」は、ハラスメント防止の観点から見直しが必要ではないか。

梶原議員の質問

本市が男性職員に対し強制している夏季以外のネクタイ着用を通年で自由化してはどうか。

机底議員の質問

梶原議員の質問

市長が遵守を求めている職員の「勤務時間中の身だしなみモデル」の中身には、フレキシブルな働き方を推進しようとしている社会の流れに抵抗するかの「ことき悪しき昭和の臭い」がしてならない。しかも、総務部長室前の廊下に大きく貼り出している始末。今どき中学校でもやらないような事務通達の押しつけか、権力誇示なのか分からぬが、情けないとしか言いようがない。

①髪、「意図的に染めることは不可。白髪染めは地毛の色で。」

②爪、「マニキュア等は透明または透明に近いものを。」

③スカート、「ミニスカートは不可。」

まるで「学校みたい」勤務時間中の身だしなみ
受講：松山市役所 資料写真：グローバル

結婚指輪以外の装飾品は身につけない。

「既婚者は指輪を付けてもいいが、
独身はダメ」という規定はヤバいですよね！
まさに、ドクハラです！！

職員 A(独身)

今の「身だしなみモデル」の規定を決めた
のは、あの男性部長でしょう～
自分の理想の女性像を職員に求めたのでは！?
女子から嫌われますよね！ 気持ち悪～

職員 B(既婚)

今時、中学校でもやらない「職員身だしなみ
モデル」の貼り紙とは、情けないです。
職員を信用していない証拠です。
徳島市のように「清潔感があり、不快感を与
えない服装」と通知することで充分では！！
(庁舎本館 2F のローカに未だに貼ってます)

梶原議員

放流同意金徴収は、違法な慣習であり、改めさせるべきではないか。

開発・建築担当部長の答弁

個々の裁判事例については、お答えする立場にないと考えています。また、土地改良区などへの対応については、働きかけを行う立場はありません。次に、慣習等については把握する立場にありません。

水路を管理する権限は、自治体にあり、松山市がその水路の維持管理を土地改良区等に依頼している以上、違法な慣習を放置する事は許されません!!

金員一致の判決を下したが、市長はこの判決をどのように捉えたのか。

また、これ以降に本市の土地改良区などに放流同意金の徴収をしないようにとの働きかけを行ったのか。